

B 館
演習室 302～演習室 306
利用手引き

第 1.4 版

令和 6 年 4 月 10 日
KUDOS 学生センター

制定・改訂履歴

版数	制改訂年月日	改訂内容	作成者	確認者	承認者
第 1.0 版	2016 年 9 月 7 日	初版	加藤	柴田	柴田
第 1.1 版	2016 年 9 月 14 日	URL 修正	加藤	柴田	柴田
第 1.2 版	2018 年 5 月 14 日	アカウントロック回数変更	平松	富	富
第 1.3 版	2023 年 10 月 13 日	部署名変更 【総合情報システム部】⇒ 【KUDOS 学生センター】	徳田		
第 1.4 版	2024 年 4 月 10 日	・演習室 307 端末関連の記述 削除 ・X,Zドライブ関連の記述削除	東郷 /中田		

目次

1. 演習室 302～演習室 306 概要	1
1.1. 教室概要	1
1.1.1. 教室レイアウト図	2
1.2. 設置コンピューター端末	4
1.3. 機器一覧	5
1.4. コンピューターの利用方法	8
1.4.1. コンピューターの利用開始(サインイン)	8
1.4.2. コンピューターの利用終了(サインアウト)	9
1.4.3. アプリケーションの利用	10
1.4.4. 利用できるドライブ・ファイルサーバ	11
1.4.4.1. ドライブ一覧	11
1.4.4.2. 各ドライブ(外部記憶メディア)の利用方法	12
1.4.5. 音声の利用(ヘッドセット貸出)	13
1.4.6. 教員用パソコンについて	13
1.4.7. DVD、ブルーレイディスクの再生について	13
1.4.8. 留意事項	13
1.5. ドキュメントシステム について	14
2. 授業支援システムの概要	15
2.1. 起動と終了	17
2.1.1. 起動	17
2.1.1.1. 画像・音声提示装置の起動	17
2.1.1.2. PCL+アプリケーションの起動	18
2.1.1.3. 持込 PC の接続	18
2.1.2. 終了	19
2.1.2.1. PCL+アプリケーションの終了	19
2.1.2.2. 画像・音声提示装置の終了	19
2.2. 画像・音声提示装置の各機能	20
2.2.1. 画像・音声提示装置の操作手順	20
2.2.1.1. 画像プレビュー	20
2.2.1.2. 提示モニター画像送出	20
2.2.1.3. プロジェクター画像送出	21
2.2.1.4. 音声送出、音量調整	22
2.3. 授業支援機能の操作手順	24
2.3.1. 授業支援機能の画面構成	24
2.3.1.1. レイアウトウィンドウ	25
2.3.1.2. ツール ボタン	27

2.3.1.3.	ステータスバー	27
2.3.1.4.	メニュー	28
2.3.2.	授業支援機能の各機能操作	29
2.3.2.1.	出席管理	29
2.3.2.2.	PCL コントローラ	30
2.3.2.3.	利用アプリケーション集計	32
2.3.2.4.	キーボードとマウスのロック	33
2.3.2.5.	画像受信(モニタリング)	34
2.3.2.6.	リモート操作	36
2.3.2.7.	モデル送出	37
2.3.2.8.	メッセージ レスポンス	37
2.3.2.9.	インターネット/アプリケーションの利用制限	37
2.3.2.10.	クライアントの電源管理	38
2.3.2.11.	グループ会話	41
3.	補足資料対応メディア一覧	42
3.1.1.	PC 本体取付スーパーマルチドライブ(Serial ATA) 動作速度一覧	42
3.1.2.	外付け BD ドライブ(USB) 動作速度一覧	42

1. 演習室 302～演習室 306 概要

1.1. 教室概要



演習室 302～演習室 306(B 館 3 階)

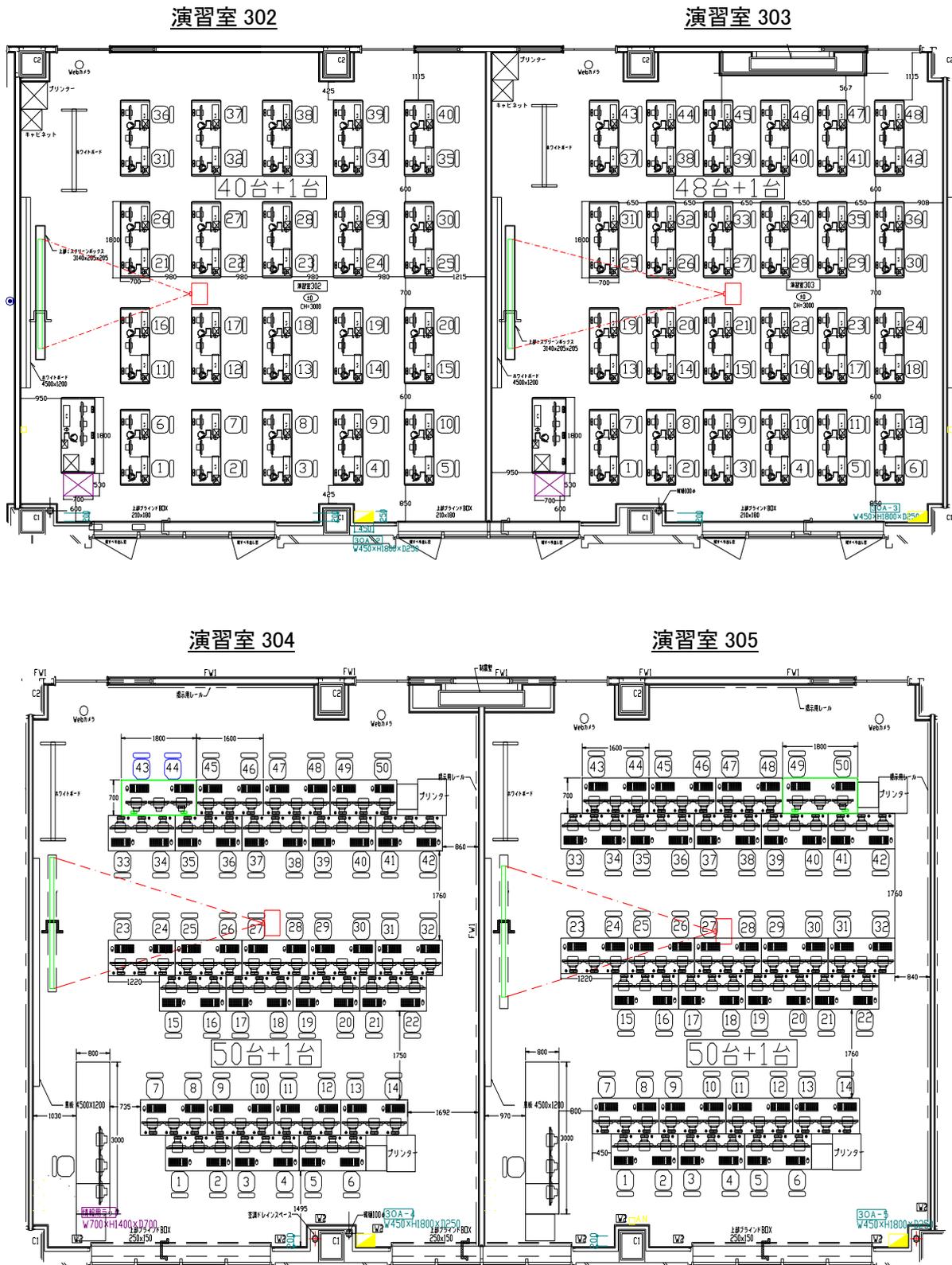
●端末機 229 台設置

(演習室 302:41 台、演習室 303:49 台、演習室 304:51 台、演習室 305:51 台、演習室 306:37 台)

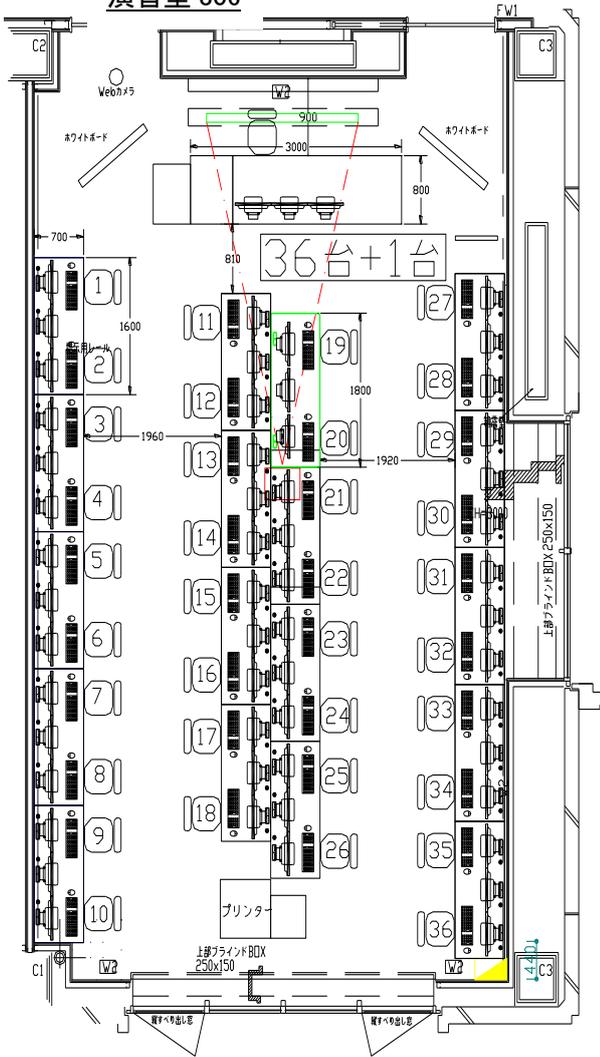
演習室 302～演習室 306 では、多様な授業形態に対応可能なネットワークブート型のパソコンを採用しております。演習室 302・303 は PC 教室と CALL システムを融合させたハイブリッド型の演習室であり、演習室 304～306 は PC 教室となっております。

OS には Windows 10 を採用しており、統計解析・データ解析を行うことができる STATA 等のソフトウェアを導入しております。

1.1.1. 教室レイアウト図



演習室 306

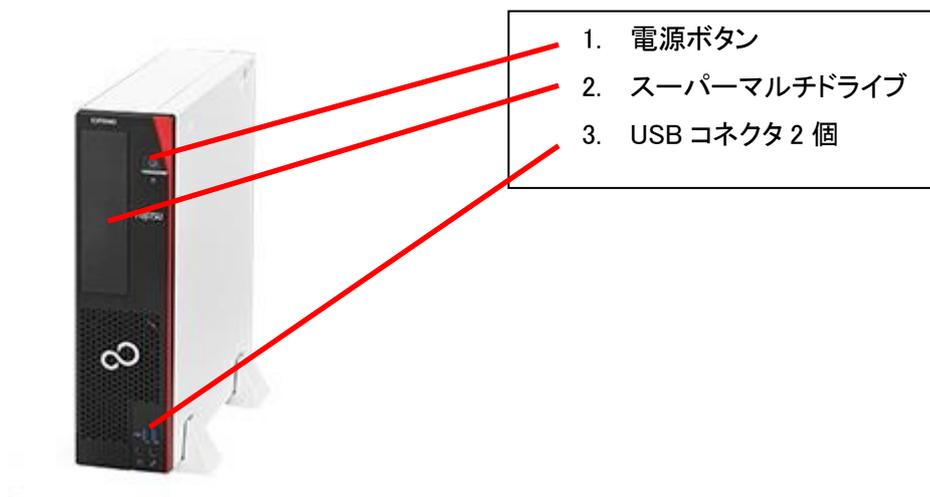


1.2. 設置コンピューター端末

B 館演習室に設置されているコンピューター端末は、次のとおりです。

なお、その他の設置機器一覧については、「1.3 .機器一覧」を参照ください

◆ 富士通 ESPRIMO D586/M (演習室 302~306)



1.3. 機器一覧

演習室 302～306

種別		機種(型名) 詳細	画像
教員用端末 (5台)	本体	富士通 ESPRIMO D586/M OS: Windows 10 Enterprise CPU: Core i5 6500 (3.2GHz) メモリ: 4GB DDR4 SDRAM HDD: 256GB SSD スーパーマルチドライブ	
	モニター (プライマリ・セカンダリ)	フィリップス 234E5EDSB/11 23 インチワイド(584mm) フル HD(1,920×1,080:約 2M ピクセル)	
	ヘッドセット (利用時に接続)	・演習室 302、303 CHieru CZ530-A ・演習室 304、305、306 CD-605MV	 
	USB 延長ケーブル		
授業支援システム(5式)	書画カメラ	ELMO P30S	
	プロジェクター	HITACHI CP-WX8650WJ	
	スクリーン	・演習室 302～305 120 インチ 4:3 ・演習室 306 100 インチ 4:3	

	マイク	<ul style="list-style-type: none"> ・有線マイク JVC PS-C51 ・1.9GHz 帯デジタルワイヤレスマイクロホン(ハンドヘルド型) Panasonic WX-ST100 ・1.9GHz 帯デジタルワイヤレスマイクロホン(ツーピース型) Panasonic WX-ST300 	 
	リモート操作 ユニット	PCL-DR43PPJSC25SP2V	
学生用 端末 224 台	本体	富士通 ESPRIMO D586/M OS: Windows 10 Enterprise CPU: Core i5 6500 (3.2GHz) メモリ: 4GB DDR4 SDRAM HDD: 256GB SSD スーパーマルチドライブ	
	モニター	フィリップス 234E5EDSB/11 23 インチワイド(584mm) フル HD(1,920×1,080:約 2M ピクセル)	
	ヘッドセット (利用時に接 続)	<ul style="list-style-type: none"> ・演習室 302、303 CHleru CZ530-A ・演習室 304、305、306 CD-605MV 	 
	USB 延長 ケーブル		
プリンタ・ スキャナ	フジゼロックス ApeosPort-VII C4473 用紙トレイ A5~A3 対応 自動両面原稿送り装置付フラットベッドカラー スキャナ		

貸出対応

種別	機種(型名) 詳細	画像
メモリーカード リーダーライター (10台)	BUFFALO BSCRA38U2 シリーズ USB2.0/1.1 バスパワー コンパクトフラッシュ、SDHC、microSD、 メモリースティック、他 55 メディアに対応	

1.4. コンピューターの利用方法

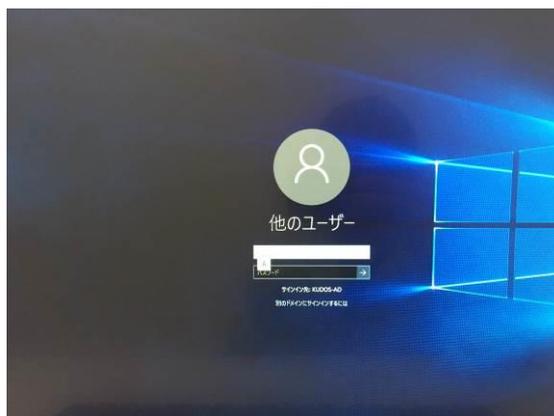
1.4.1. コンピューターの利用開始(サインイン)

演習室 302～306 にて、コンピューターを利用するにはサインインする必要があります。
ご自身のユーザーID とパスワードをご用意ください。

- ① キーボードを押します。



- ② サインイン先に「KUDOS-AD」と表示されていることを確認し、[ユーザー名]ボックスに「ユーザーID」を、[パスワード]ボックスに「パスワード」を、入力し、 ボタンをクリックします。



- ③ サインインすると以下のようなデスクトップ環境が利用できます。

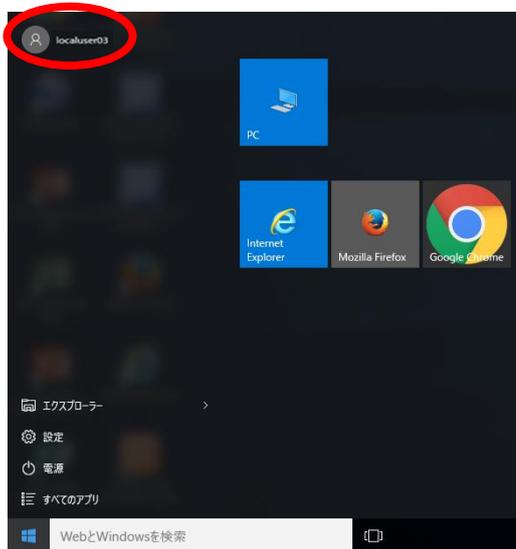


! **注意** ユーザー名とパスワードの入力を 20 回以上間違えると、ロックがかかります。
数分間サインインできなくなりますので、ご注意ください。

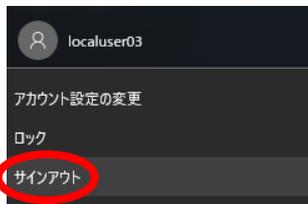
1.4.2. コンピューターの利用終了(サインアウト)

演習室 302~306 にて利用後のコンピューターはサインアウトします。

- ① [スタート]ボタン  をクリックします。



- ② 左上のユーザー名  をクリックします。



- ③ [サインアウト]ボタン  をクリックします。

! 注意

デスクトップに保存されたファイルは、コンピューターを再起動すると消去されます。

ドキュメントに保存されたファイルも同様にコンピューターを再起動すると消去されます。

必要なデータは、Gドライブ(Googleドライブ)、または、所有の外部記録メディア(USBフラッシュメモリ等)に保存ください。

詳細は、「◆各ドライブ(外部記憶メディア)の利用方法」を参照ください。

1.4.3. アプリケーションの利用

※各教室のインストールされているアプリケーションの最新版は KUDOS WEB で確認して下さい。

アプリケーションを起動するには以下の 3 通りの方法があります

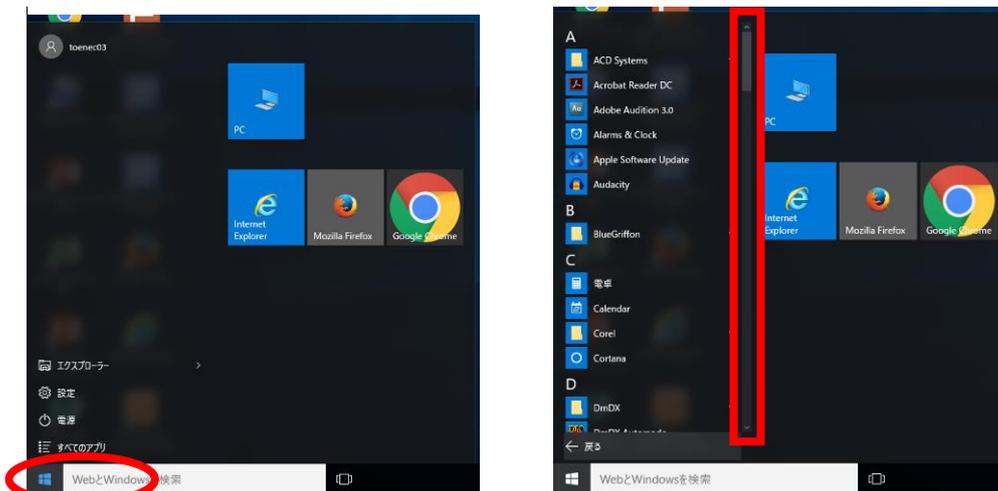
- ◆ デスクトップのアイコンをダブルクリック
- ◆ スタートメニューをクリック

◆ デスクトップアイコンからアプリケーションを起動

デスクトップアイコンの該当のアプリケーションをダブルクリックします

◆ スタートボタンからアプリケーションの起動

- ① [スタート]ボタンより[すべてのプログラム]→「アプリケーション名」の順に選択し、目的のアプリケーション名をクリックします。



ポイント

プログラム一覧に目的のアプリケーションが見つからない場合には、スクロールバーをスクロールします。また、フォルダ  はクリックして開きます。

◆ 利用できるドライブ・ファイルサーバ

演習室 302～306 では以下の各ドライブが割り当てられています。

1.4.3.1. ドライブ一覧

ドライブ	説明
C	OS やアプリケーションのためのシステムドライブです。 再起動すると、初期状態に戻るため、保存データは全て破棄されます。
D	パソコンの電源を入れなおしてもデータが保存される一時保存用ドライブです。 保存されたデータはすぐには削除されませんが、1 週間に 1 回の間隔で削除される設定になっているため、Gドライブか外部メディアに保存するようお願いします。
E	CD-R/RW、DVD±R/RW、DVD-RAM が利用できるスーパーマルチドライブです。
F	カードリーダーライターや USB フラッシュメモリが自動的に割り当てられます。
G (Google ドライブ)	Google ドライブ (Google Drive) は Google が提供するクラウドストレージです。 スマートフォンやパソコンからもアクセスすることができます。 また、共有、共同編集することができます。

パソコンにて利用可能なドライブ・ファイルサーバを確認するには、サインイン後、[スタート]ボタンより[コンピューター]をクリックします。

1.4.3.2. 各ドライブ(外部記憶メディア)の利用方法

◆ スーパーマルチドライブ(E:)

CD-ROM/R/RW、DVD±R/RW、DVD-ROM、DVD-RAM、DVD±R(2層)が利用できます

パソコン前面左側の取出しボタンを押し、メディアを縦に挿入ください

なお、各モードの読込/書込速度については、P.42「3.1.1PC 本体取付スーパーマルチドライブ(Serial ATA) 動作速度一覧」を参照ください

演習室 302~306



◆ カードリーダー(貸出)

カードリーダーはインフォメーションにて貸出しております。

各カードの挿入箇所については以下をご確認ください。

5つの挿入口にて55種類のメディアカードが利用できます。



※各メディアはラベルを上に向け挿入ください(コンパクトフラッシュとスマートメディアは裏向きに挿入ください)

※コンパクトフラッシュとマイクロドライブは同時使用できません。

※スマートメディアとxDピクチャーカードは同時使用できません。

※メモリスティックとメモリスティック PRO とメモリスティック Duo とメモリスティック PRO Duo は同時使用できません。

※SD/SDHC メモリーカードと miniSD/miniSDHC カードとマルチメディアカードと MMC と RS-MMC は同時使用できません。

※microSD/SDHC メモリーカードと MSmicro は同時使用できません

◆ USB (F:)

USB フラッシュメモリなど USB 機器が利用できます。

USB メモリの利用を終了してパソコンから取り外す場合は、次の手順で操作します。

USB メモリを参照しているウィンドウをすべて終了します。

タスクバー右端のインジケータ表示部分のをクリックします。

! 注意

C ドライブ(デスクトップ・マイドキュメントフォルダも含まれます)に保存されたファイルはパソコンを再起動すると消去されます。C ドライブに保存されたデータに関しては保証いたしかねますのでご注意ください。

教室内のパソコンで作成したファイルなどのデータは G ドライブ(Google ドライブ)または USB メモリなど外部記録メディア((F:)~)へ保存ください。

1.4.4. 音声の利用(ヘッドセット貸出)

パソコンから出力される音を聞く場合、またはマイクを利用するには、ステレオヘッドセットを利用します。

ヘッドセットは教室内のラックに保管されていますので、取り出して使用します。

USB 延長ケーブルに束ねられた挿し口に、イヤホン(グリーン)とマイク(ピンク)のそれぞれを挿します。

音量の調整は、タスクバーの「スピーカー」ボタンをクリックし、スライダーにて音量調整します。

1.4.5. 教員用パソコンについて

教員用パソコンと PCL 制御機は、教員用権限のあるユーザーのみサインインできます。

1.4.6. DVD、ブルーレイディスクの再生について

BD プレーヤーの代わりに教員用 PC に外付け BD ドライブが接続されています。

DVD、ブルーレイディスクを再生・書込になる場合は外付け BD ドライブをご利用下さい。

1.4.7. 留意事項

パソコン 利用後は「シャットダウン」せずに「サインアウト」をしてください

サインアウト前には必要なデータが Google ドライブまたは外部記憶メディアに保存したことを今一度ご確認ください

1.5. ドキュメントシステム について

- ◆ プリンターの一覧については下記のとおりとなります。

プリンター一覧

教室名	装置名	プリンタ名
演習室 302	ApeosPort-VII C4473	B 館_演習室 302_1 号機
演習室 303	ApeosPort-VII C4473	B 館_演習室 303_1 号機
演習室 304	ApeosPort-VII C4473	B 館_演習室 304_1 号機
		B 館_演習室 304_2 号機
演習室 305	ApeosPort-VII C4473	B 館_演習室 305_1 号機
		B 館_演習室 305_2 号機
演習室 306	ApeosPort-VII C4473	B 館_演習室 306_1 号機

教室のプリンターはポイント管理方式(KUDOS Print)に対応しています。プリントシステムの利用については、KUDOS WEB「KUDOS Print」(<http://kudos.kindai.ac.jp/service/print>)のマニュアルをご参照ください。

2. 授業支援システムの概要

授業支援システムは、以下により構成されます。

1) 画像・音声提示装置による各機能

教卓上のリモート操作ユニットを操作することで、学習者に教材となる画像や音声を提示することができます。

「表 2-1 画像・音声提示装置による機能一覧」の各機能を利用できます。

2) PCL+アプリケーションによる各機能

教員 PC にセットアップされた PCL+アプリケーションの制御画面を操作することで、出席管理や学習者 PC の

操作禁止など「表 2-2 PCL+アプリケーションによる機能一覧」の各機能を利用できます。

表 2-1 画像・音声提示装置による機能一覧

機能名称	機能詳細	操作手順
1 画像プレビュー	教材画像を学習者に送出する前に確認を行います。	2.2.1.1
2 提示モニター画像送出	教材画像を提示モニターに送出します。	2.2.1.2
3 プロジェクター画像送出	教材画像を液晶プロジェクターに送出します。	2.2.1.3
4 音声送出、音量調整	送出教材音声やマイク音声(有線マイク、ワイヤレスマイク)をスピーカーに出力します。また、音量調整も可能です。	2.2.1.4

表 2-2 PCL+アプリケーションによる機能一覧

機能名称	機能詳細	操作手順
1 出席管理	授業に出席した学習者情報を出席データとして管理・保存します。	2.3.2.1
2 PCL コントローラ	画像・音声提示装置の一部操作を PCL+アプリケーションから操作します。	2.3.2.2
3 利用アプリケーション集計	学習者が利用中のアプリケーションのタイトル情報を集計表示し、学習状況を確認します。	2.3.2.3
4 キーボードとマウスのロック	学習者が PC を操作できないよう、キーボードとマウスをロックします。	2.3.2.4
5 画像受信(モニタリング)	学習者の PC 画面を取得し、学習状況を確認します。	2.3.2.5
6 リモート操作	学習者の PC を個別操作します。	2.3.2.6
7 モデル送出	教員またはモデル学習者の PC 画面を他の学習者の PC 画面に送出します。	2.3.2.7
8 メッセージ レスポンス	学習者と教員の間でテキストベースのメッセージ送受信や設問・解答を行います。	2.3.2.8
9 インターネット/アプリケーションの利用制限	学習者 PC のアプリケーション利用やインターネットエクスプローラによる WEB 閲覧を一時的に制限します。	2.3.2.9

10	クライアントの電源管理	学習者 PC のシャットダウン、再起動、サインアウト等を、一斉または個別に実行します。	2.3.2.10
11	グループ会話	学習者間でグループ会話を行います。	2.3.2.11

各演習室の機器搭載図は以下のようになっています。

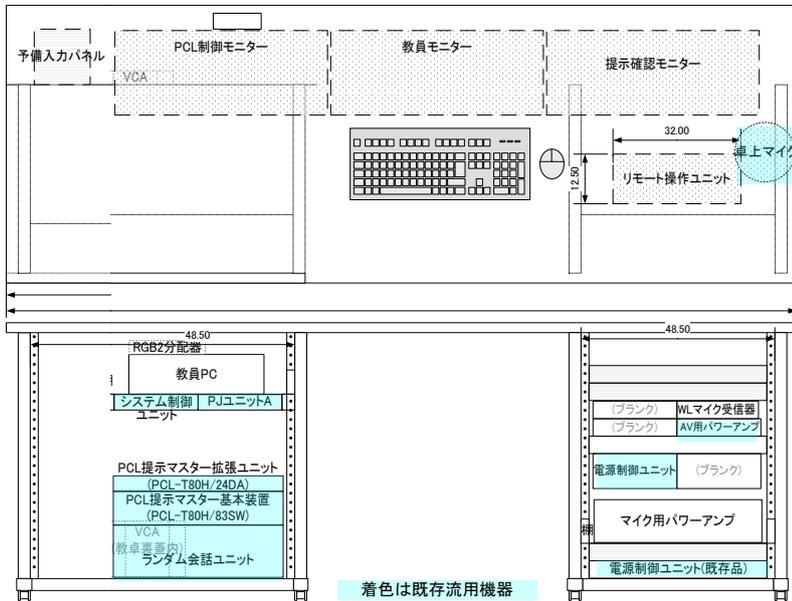


図 2-1 演習室 302、303 機器搭載図

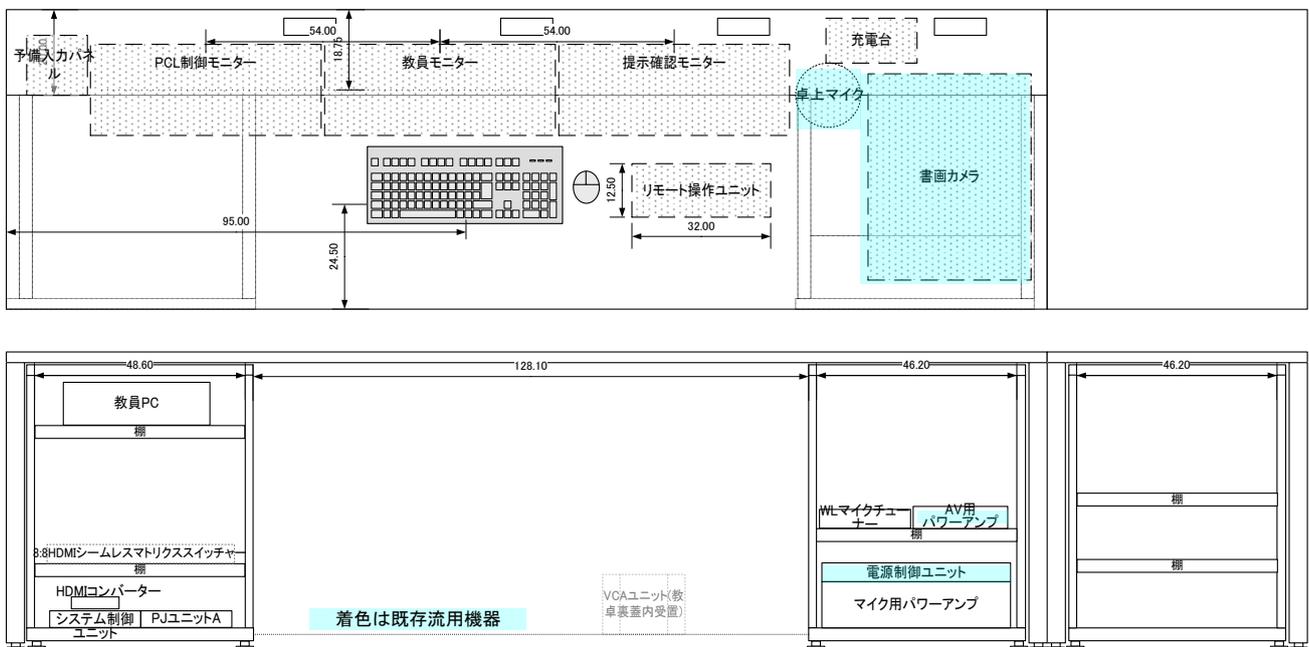


図 2-2 演習室 304～306 機器搭載図

2.1. 起動と終了

授業支援システムの起動と終了の概要は以下に通ります。

2.1.1. 起動

以下の順序で起動してください。順序が逆の場合、一部機能が利用できない場合があります。
画像・音声提示装置の各機能と PCL+アプリケーションの各機能は、各々を単独で利用することも可能ですが、その場合は一部機能が制限されることがあります。

2.1.1.1. 画像・音声提示装置の起動

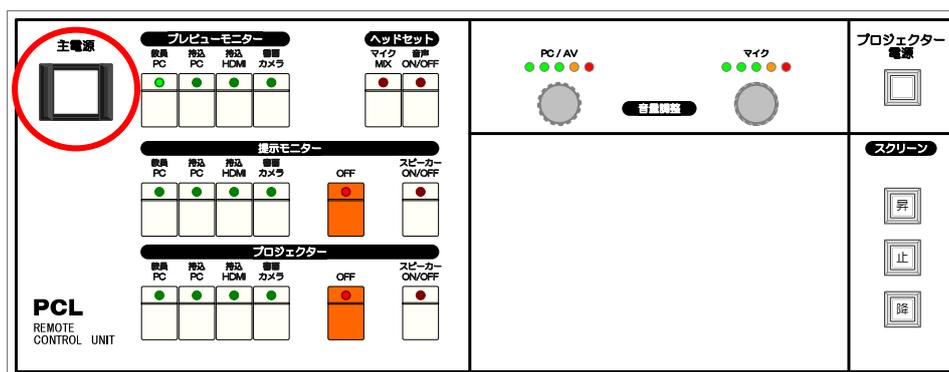


図 2-3 リモート操作ユニットの外観(演習室 302~306)

操作 リモート操作ユニットの [主電源] ボタンを 1 秒以上押してください。

[主電源] ボタンのランプが点灯し、教員卓機器の電源が自動投入されます。

(PC など、教員卓機器の一部の電源は自動投入されません)

モニター名称はそれぞれ以下に対応しています。(下 3 つはユニット内のボタンに対応)

- ・ 教員機モニター … 教卓中央の PC 表示モニター
- ・ PCL モニター … モニターに向かって左側の、授業支援ソフトを映すモニター
- ・ プレビューモニター … モニターに向かって右側の、書画カメラ等の確認用モニター
- ・ 提示モニター … 学生卓の中間モニター
- ・ プロジェクター … プロジェクターに映す内容を選択します

2.1.1.2. PCL+アプリケーションの起動

操作 1 教員 PC にサインインしてください。

PCL+アプリケーションはスタートアップに登録されているため、サインイン処理とともに自動起動されます。

(終了させてしまった場合など、手動で起動するには [スタート] メニューから [すべてのプログラム] をクリックし、[スタートアップ] - [PCL+Master] をクリックしてください)

授業の開始 (出席管理機能の利用)

PCL+アプリケーションでは、学習者のサインイン情報を出席情報として保存する機能があります。「授業の開始」と「授業の終了」操作を行うことで、遅刻や早退情報を含む出席情報を保存することができます。詳細については『2.3.2.1 出席管理』を参照してください。

2.1.1.3. 持込 PC の接続

授業の中で持込 PC の映像や音声を教材として利用する場合には、

図 2-4 入力パネルの持込 PC 端子部に RGB ケーブルや音声ケーブルを接続してください。

[RGB IN]端子 RGB ケーブルを利用して映像信号を入力

[AUDIO IN]端子 音声ケーブルを利用して音声信号を入力

「HDMI」端子 HDMI ケーブルを利用して映像・音声信号を入力

電源供給用の AC100V コンセント、および、情報コンセントも利用可能です。

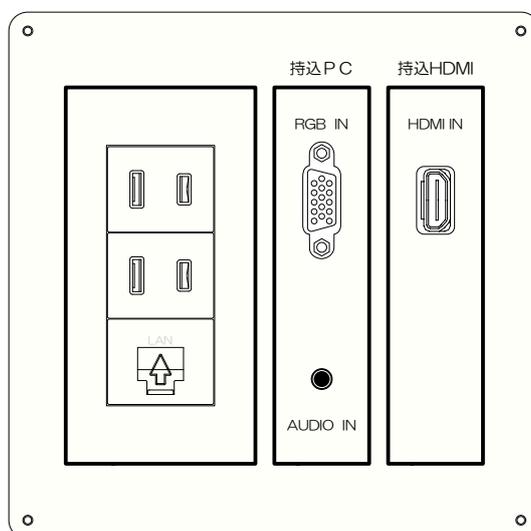


図 2-4 入力パネル

2.1.2. 終了

以下の順序で終了してください。

2.1.2.1. PCL+アプリケーションの終了

操作 1 **注意** : 出席情報を保存する場合は、この操作の前に保存操作を行ってください。詳細については『2.3.2.1 出席管理』を参照してください。
ウィンドウ右上にある [ (閉じる)] ボタンをクリックしてください。
PCL+アプリケーションが終了します。

操作 2 教員 PC をサインアウトしてください。

PCL+アプリケーション終了時、学習者 PC で実行されている機能(モデル送付、キーボードとマウスのロック、インターネット/アプリケーションの利用制限など)は無効になります。

2.1.2.2. 画像・音声提示装置の終了

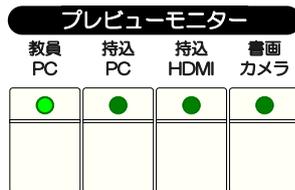
操作 リモート操作ユニットの [主電源] ボタンを 1 秒以上押してください。
[主電源] ボタンのランプが消灯し、起動時に自動投入された教員卓機器の電源が切れま
す。

2.2. 画像・音声提示装置の各機能

2.2.1. 画像・音声提示装置の操作手順

2.2.1.1. 画像プレビュー

教材画像を学習者の提示モニターやプロジェクターに送出する前に、プレビューモニターにて確認を行います。



画像・音声提示のソースとして利用可能な機器

- 教員 PC
- 持込 PC（予備入力端子に RGB ケーブルおよび音声ケーブルで接続）
- 持込 HDMI（予備入力端子に HDMI ケーブルで接続）
- 書画カメラ

送出操作 プレビューモニターへの送出を行う教材ボタンを押してください。

選択された教材ボタンランプが点灯し、プレビューモニターに教材画像が映ります。
学習者の提示モニターに送出する前に、教材画像を確認できます。

2.2.1.2. 提示モニター画像送出

教材画像を学習者の提示モニターに送出します。



画像・音声提示のソースとして利用可能な機器

- 教員 PC
- 持込 PC（予備入力端子に RGB ケーブルおよび音声ケーブルで接続）
- 持込 HDMI（予備入力端子に HDMI ケーブルで接続）
- 書画カメラ

送出操作 提示モニターへの送出を行う教材ボタンを押してください。

選択された教材ボタンランプが点灯し、学習者の提示モニターに教材画像が映ります。
教員用の提示モニターで送出中の教材画像を確認できます。

停止操作 提示モニターへの送出を停止する場合は [OFF] ボタンを押してください。

[OFF] ボタンランプが点灯し、送出を停止します。

2.2.1.3. プロジェクター画像送出

教材画像をプロジェクターに送出します。以下の手順で利用してください。

- 1) 起動操作を行うことでプロジェクターが利用可能な状態となり、同時にスクリーンが降下して利用可能となります。
- 2) 送出する教材画像を選択します。
- 3) 終了操作を行うことでプロジェクターがスタンバイ状態となり、同時にスクリーンが収納されます。

◆ プロジェクターの起動と終了



起動操作 [プロジェクター電源] ボタンを 1 秒以上押してください。

[プロジェクター電源] ボタンのランプが点灯し、プロジェクターのウォームアップ処理が開始され、自動でスクリーンが降下します。

プロジェクターは、ウォームアップ処理完了後に利用可能となります。

終了操作 [プロジェクター電源] ボタンを 1 秒以上押してください。

[プロジェクター電源] ボタンのランプが点滅し、プロジェクターのクールダウン(光源ランプ冷却)処理が開始され、自動でスクリーンが収納されます。

プロジェクターは、クールダウン(光源ランプ冷却)処理完了後、ボタンのランプが消灯になり、プロジェクター本体はスタンバイ状態になります。

なお、スクリーンの昇降は各スクリーンの昇降ボタンを操作することで、プロジェクターの起動状態に関わらず操作可能です。



◆ 送出画像の選択

教材画像をプロジェクターに送出します。



画像・音声提示のソースとして利用可能な機器

- 教員 PC
- 持込 PC (予備入力端子に RGB ケーブルおよび音声ケーブルで接続)
- 持込 HDMI (予備入力端子に HDMI ケーブルで接続)
- 書画カメラ

送出操作 プロジェクターへの送出を行う教材ボタンを押してください。

選択された教材ボタンランプが点灯し、プロジェクターに教材画像が映ります。

停止操作 プロジェクターの送出を停止する場合は [OFF] ボタンを押してください。

[OFF] ボタンランプが点灯し、送出を停止します。

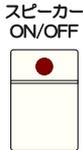
2.2.1.4. 音声送出、音量調整

◆ 音声送出

提示モニター画像送出およびプロジェクター画像送出で選ばれている教材の音声をスピーカー、あるいは学習者ヘッドセットに送出します。

● スピーカー音声送出

教材音声をスピーカーに送出します。



送出操作 提示モニターあるいはプロジェクターへの教材送出後、教材送出ボタン横にある [スピーカー (ON/OFF)] ボタンを押してください。

[スピーカー] ボタンランプが点灯し、スピーカーから教材音声が出力されます。

教材画像の送出が OFF になっている場合は、ボタンランプは点灯していますが音声は出力されません。

停止操作 スピーカーへの出力を停止する場合は 再度 [スピーカー (ON/OFF)] ボタンを押してください。

[スピーカー] ボタンランプが消灯し、音声出力を停止します。

● 学習者ヘッドセット音声送出

教材音声を学習者ヘッドセットに送出します。



送出操作 提示モニターへの教材送出後、[ヘッドセット音声 (ON/OFF)] ボタンを押してください。

[ヘッドセット音声] ボタンランプが点灯し、学習者ヘッドセットから教材音声が出力されます。

教材画像の送出が OFF になっている場合は、ボタンランプは点灯していますが音声は出力されません。

停止操作 学習者ヘッドセットへの出力を停止する場合は 再度[ヘッドセット音声 (ON/OFF)]ボタンを押してください。

[ヘッドセット音声] ボタンランプが消灯し、音声出力を停止します。

● 教員ヘッドセットマイク音声送出

教員用ヘッドセットマイク音声を学習者ヘッドセットに送出します。

ヘッドセット利用の学習者へ呼びかけることができます。



送出操作 [マイク MIX] ボタンを押してください。

[マイク MIX] ボタンランプが点灯し、学習者ヘッドセットから教員ヘッドセットマイクの音声が出力されます。

教材画像の送出が ON になっている場合、教材音声と教員ヘッドセットマイク音声がミキシングされて出力されます。

スピーカー音声送出 (提示モニター側) を ON にすることで、スピーカーに出力することができます。

停止操作 学習者ヘッドセットへの出力を停止する場合は 再度 [マイク MIX] ボタンを押してください。

[マイク MIX] ボタンランプが消灯し、音声出力を停止します。

◆ 音量調整

送出教材音声、および、マイク音声の音量調整は「音量調整」の各ツマミを左/右に回すことで音量が減/増されます。

ツマミ上部のランプの点灯が現在の音量の目安です。

(装置起動時の音量は一定の音量に設定されております)



教材音声 (教員用パソコン・持込パソコン)

提示モニターおよびプロジェクターへの送出により送出された教材の音声は、常に室内スピーカーから出力されます。

マイク音声 (有線およびワイヤレス)

マイク本体のスイッチを ON にすることで、教材送出の有無に関わらず、常に教室の天井スピーカーから出力されます。

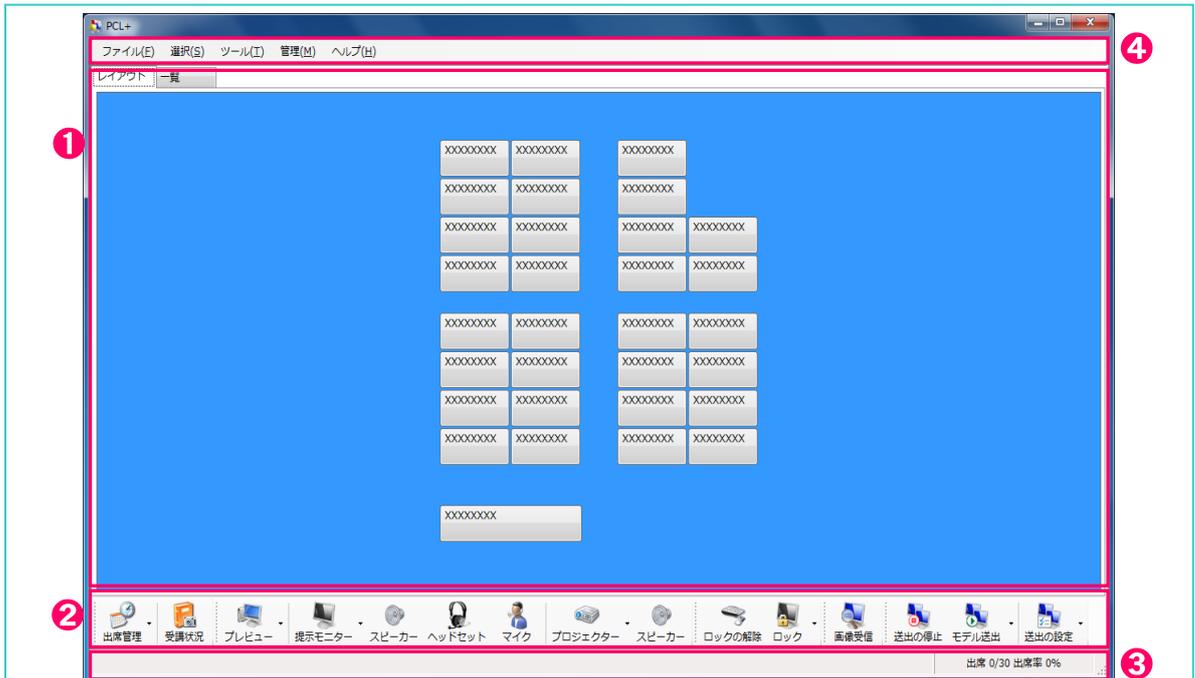
操作 音量調整の各ツマミをゆっくりと左右に回してください。

(このツマミには終端がありませんので何回転でもまわります。早く操作しても音量の変化は早くなりません)

送出音声の音量が調整されます。

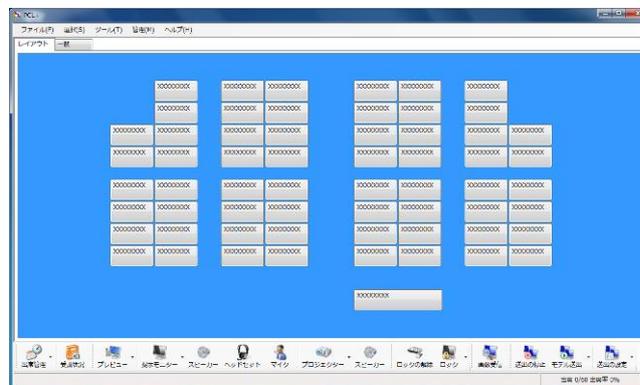
2.3. 授業支援機能の操作手順

2.3.1. 授業支援機能の画面構成



① レイアウトウィンドウ

教室のレイアウトが表示されます。



レイアウト例

② ツール ボタン

標準機能の機能ボタンが配置されています。

③ ステータス バー

PC の利用状況が出席情報として表示されます。

④ メニュー

作業に必要なコマンドが操作の種類ごとにまとめられ、[ファイル]、[選択] などの各メニューに配置されています。メニューをクリックするとコマンド群が表示されます。

2.3.1.1. レイアウトウィンドウ

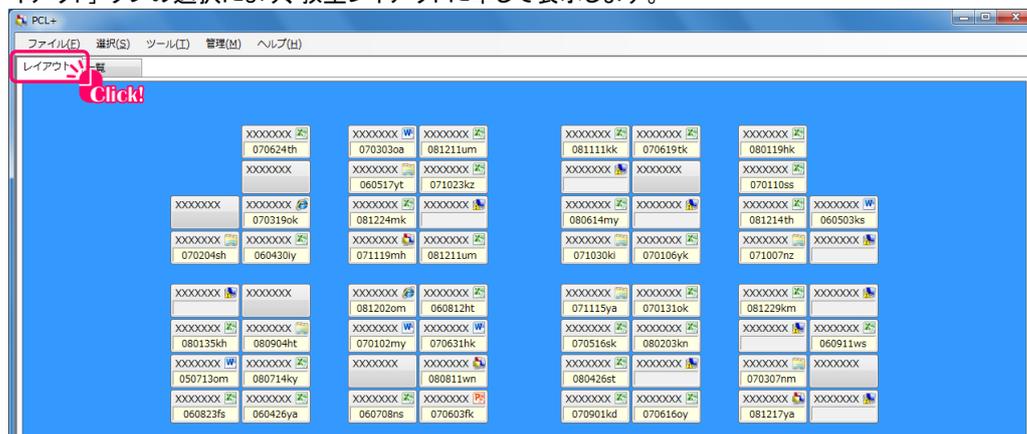
学習者 PC の利用状況が表示されます。

レイアウトウィンドウの表示形式は以下の 2 形式があり、レイアウトウィンドウにあるタブをクリックすることで切り替えます。

教室レイアウトに準じて表示する レイアウトモード
出席している学習者をリスト表示する 一覧モード

◆ レイアウト モード

[レイアウト] タブの選択により、教室レイアウトに準じて表示します。



学習者 PC 別に利用状況が表示され、教室全体の利用状況がわかります。

学習者 PC ボタンには 利用者名 が表示され、PC を利用している学習者が一目でわかります。

学習者 PC ボタンの構成

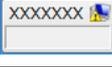
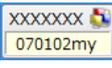
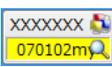
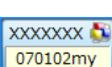
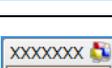
- 1 コンピューター名
コンピューターの簡易名(例:st001)が表示されます。
- 2 利用者名
コンピューターにログオンしている利用者の名前が表示されます。
※ 利用者の名前が表示できない場合は利用者のアカウントが表示されます。
- 3 利用アプリケーションアイコン
利用中のアプリケーションアイコンが表示されます。

学習者 PC のツールヒント表示

学習者 PC ボタンの上にマウス ポインタを置いたままにしておくと、ツール ヒント(ポップアップ ウィンドウ)が表示され、コンピューター名、利用者のアカウント、利用アプリケーション名などの詳細な情報が

学習者 PC の見方

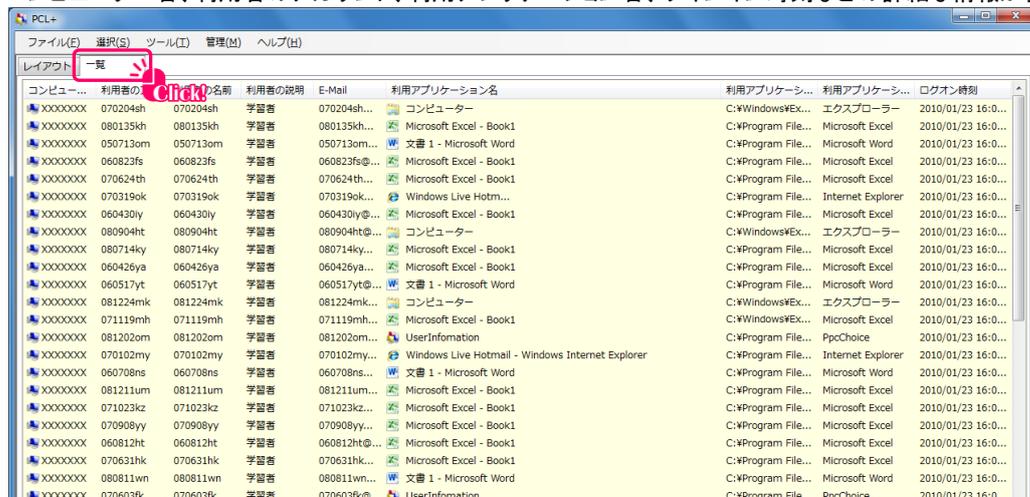
学習者 PC の状態や、各種機能の利用状態に応じて次のように表示が変わります。

学習者 PC	説明
	稼動していない PC (電源 OFF 状態の PC)
	稼働中の PC (電源 ON 状態、あるいは、サインアウト状態の PC)
	出席している学習者 利用者が表示されます。
	フォーカスをもつ学習者 利用者の横に 🔍 マークが表示されます。
	選択している学習者 ボタンの表面が 青色 で強調されます。
	キーボード/マウスがロックされている学習者 利用者の横に 🗝️ マークが表示されます。
	モデル送出ししている学習者 利用者の横に 📡 マークが表示されます。
	モデル送先としてマークされている学習者 利用者の背景が変わり、枠が線で囲まれます。
	グループ会話をしている学習者 PC 名の横に 👤 マークが表示されます。

◆ 一覧 モード

[一覧] タブの選択により、サインインしている学習者の情報をリスト形式で表示します。

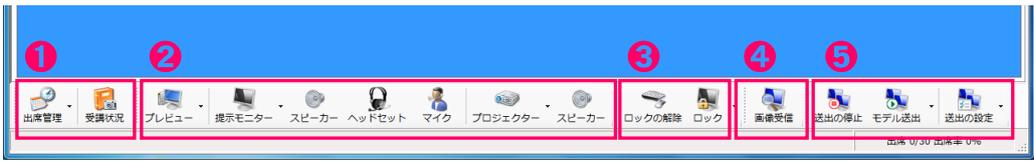
コンピューター名、利用者のアカウント、利用アプリケーション名、サインイン時刻などの詳細な情報が表示されます。



コンピューター名	利用者の名前	利用者の説明	E-Mail	利用アプリケーション名	利用アプリケーション...	利用アプリケーション...	ログイン時刻
XXXXXXX	070204sh	070204sh	学習者	070204sh...	コンピューター	C:\Windows\Ex...	2010/01/23 16:0...
XXXXXXX	080135kh	080135kh	学習者	080135kh...	Microsoft Excel - Book1	C:\Program File...	2010/01/23 16:0...
XXXXXXX	050713om	050713om	学習者	050713om...	文書 1 - Microsoft Word	C:\Program File...	2010/01/23 16:0...
XXXXXXX	060823fs	060823fs	学習者	060823fs@...	Microsoft Excel - Book1	C:\Program File...	2010/01/23 16:0...
XXXXXXX	070624th	070624th	学習者	070624th...	Microsoft Excel - Book1	C:\Program File...	2010/01/23 16:0...
XXXXXXX	070319ok	070319ok	学習者	070319ok...	Windows Live Hotm...	C:\Program File...	2010/01/23 16:0...
XXXXXXX	060430ly	060430ly	学習者	060430ly@...	Microsoft Excel - Book1	C:\Program File...	2010/01/23 16:0...
XXXXXXX	080904ht	080904ht	学習者	080904ht@...	コンピューター	C:\Windows\Ex...	2010/01/23 16:0...
XXXXXXX	080714ky	080714ky	学習者	080714ky...	Microsoft Excel - Book1	C:\Program File...	2010/01/23 16:0...
XXXXXXX	060426ya	060426ya	学習者	060426ya...	Microsoft Excel - Book1	C:\Program File...	2010/01/23 16:0...
XXXXXXX	060517yt	060517yt	学習者	060517yt@...	文書 1 - Microsoft Word	C:\Program File...	2010/01/23 16:0...
XXXXXXX	081224mk	081224mk	学習者	081224mk...	コンピューター	C:\Windows\Ex...	2010/01/23 16:0...
XXXXXXX	071119mh	071119mh	学習者	071119mh...	Microsoft Excel - Book1	C:\Windows\Ex...	2010/01/23 16:0...
XXXXXXX	081202om	081202om	学習者	081202om...	UserInformation	C:\Program File...	2010/01/23 16:0...
XXXXXXX	070102my	070102my	学習者	070102my...	Windows Live Hotmail - Windows Internet Explorer	C:\Program File...	2010/01/23 16:0...
XXXXXXX	060708ns	060708ns	学習者	060708ns...	文書 1 - Microsoft Word	C:\Program File...	2010/01/23 16:0...
XXXXXXX	081211um	081211um	学習者	081211um...	Microsoft Excel - Book1	C:\Program File...	2010/01/23 16:0...
XXXXXXX	071023kz	071023kz	学習者	071023kz...	Microsoft Excel - Book1	C:\Program File...	2010/01/23 16:0...
XXXXXXX	070908yy	070908yy	学習者	070908yy...	Microsoft Excel - Book1	C:\Program File...	2010/01/23 16:0...
XXXXXXX	060812ht	060812ht	学習者	060812ht@...	Microsoft Excel - Book1	C:\Program File...	2010/01/23 16:0...
XXXXXXX	070631hk	070631hk	学習者	070631hk...	Microsoft Excel - Book1	C:\Program File...	2010/01/23 16:0...
XXXXXXX	080811wn	080811wn	学習者	080811wn...	文書 1 - Microsoft Word	C:\Program File...	2010/01/23 16:0...
XXXXXXX	070603fk	070603fk	学習者	070603fk@...	UserInformation	C:\Program File...	2010/01/23 16:0...

2.3.1.2. ツール ボタン

機能ボタンが表示されます。



①	出席管理	授業に出席した学習者を管理します。
②	PCL コントローラ	画像・音声提示装置との画像・音声送出連携を行います。
③	キーボード・マウス ロック	学習者のキーボード・マウスを一斉にロックします。
④	画像受信(モニタリング)	学習者の画面を確認します。
⑤	モデル送出	任意の学習者の画面をモデルとして画像送出します。

2.3.1.3. ステータスバー

サインインしている PC の利用状況を出席情報として表示します。

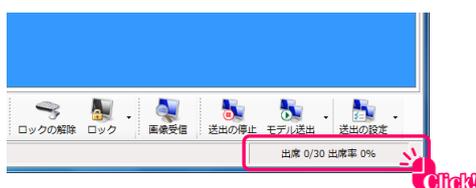


規定では、教室 PC の台数を受講者数として、利用者を出席者として出席率を表示しています。

受講者数を実際の授業に合わせることで授業別に出席率を確認することができます。

◆ 受講者数の変更

- 1) ステータスバーの出席情報表示部をクリックします。

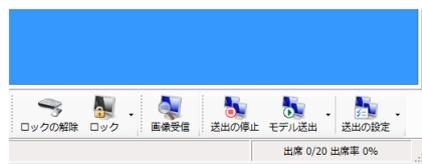


受講者数の変更ウィンドウが表示されます。



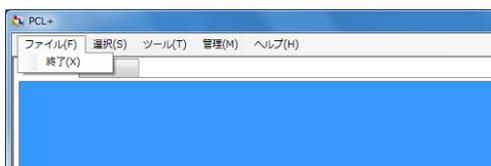
- 2) 授業の受講者数を入力し、[OK] ボタンをクリックします。

出席情報表示部の表示が更新されます。



2.3.1.4. メニュー

◆ ファイル メニュー

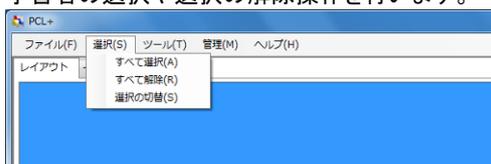


終了

PCL+ マスターアプリケーションを終了します。

◆ 選択 メニュー

学習者の選択や選択の解除操作を行います。



すべて選択

すべての学習者を選択状態にします。

すべて解除

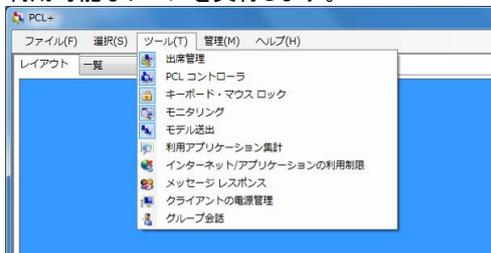
すべての学習者の選択を解除します。

選択の切替

選択状態を切り替えます。選択状態にある学習者は選択が解除され、選択されていない学習者が選択状態になります。

◆ ツール メニュー

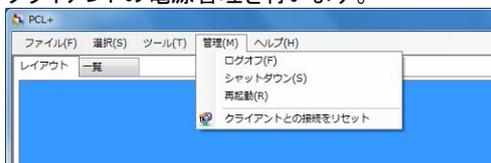
利用可能なツールを実行します。



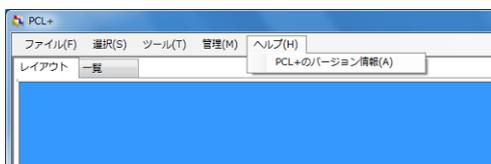
実行中のツールは、アイコンがチェック状態になります。

◆ 管理 メニュー

クライアントの電源管理を行います。



◆ ヘルプ メニュー



PCL+のバージョン情報

PCL+のバージョン情報を表示します。

2.3.2. 授業支援機能の各機能操作

2.3.2.1. 出席管理

授業に出席した学習者情報を出席データとして管理・保存します。

出席情報の管理方法は、授業の開始と終了を設定する方法(出席管理)と、現在利用中の学習者情報をそのまま保存(受講状況の記録)する方法の2種類があります。

◆ 出席管理

授業の開始/終了操作を行うことで、遅刻・早退情報を含んだ出席を取ることができます。

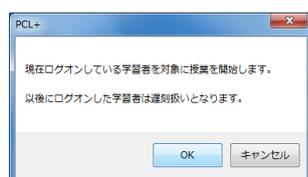
● 授業の開始

授業の開始時の任意のタイミングで操作してください。

- 1) [出席管理] ボタンをクリックし、表示されるメニューから [授業の開始] をクリックします。



確認ダイアログボックスが表示されます。



- 2) [OK] ボタンをクリックし、授業を開始します。
以降にサインインした学習者を遅刻者として記録します。

● 授業の終了

授業の終了を行い、出席データを保存します。

[授業の終了]操作より前に学習者がサインアウトした場合、早退扱いになります。学習者には先にサインアウトしないように指示をしておいてください。

- 1) [出席管理] ボタンをクリックし、表示されるメニューから [授業の終了] をクリックします。



- 2) データ保存ダイアログボックスが表示されます。

出席データを保存する場所を指定し、[保存] をクリックします。

規定では、[c:\Users\<ユーザーID>\Documents\PCL+\<出席>]フォルダが開かれます。

[ファイル名] ボックスには、保存日時がファイル名としてあらかじめ入力されています。

出席情報が CSV 形式で保存されます。

◆ 受講状況の記録

現在利用中の学習者情報をスナップショット形式で出席情報としてデータ保存します。

- 1) [受講状況] ボタンをクリックします。



- 2) データ保存ダイアログボックスが表示されます。

出席データを保存する場所を指定し、[保存] をクリックします。

規定では、[c:\%Users%\ユーザーID\%Documents%\PCL+%出席]フォルダが開かれます。

[ファイル名] ボックスには、保存日時がファイル名としてあらかじめ入力されています。

出席情報が CSV 形式で保存されます。

2.3.2.2. PCL コントローラ

画像・音声提示装置の『画像プレビュー』、『提示モニター画像送付』、『プロジェクター画像送付』機能を画面上から操作できます。



◆ 画像プレビュー

教材画像を学習者の提示モニター、あるいは、プロジェクターに送付する前にプレビューモニターに表示して確認を行います。

- [プレビュー] ボタンをクリックし、表示されるメニューから教材をクリックします。



プレビューボタン アイコンが プレビューする教材のアイコンに変わり、プレビューモニターに教材画像が映ります。

◆ 提示モニター画像送出

教材画像を学習者の提示モニターに送出します。

[提示モニター] ボタンをクリックし、表示されるメニューから提示モニターへの送出を行う教材をクリックします。



[提示モニター] ボタンアイコンが 送出する教材のアイコンに変わり、提示モニターに教材画像が映ります。

提示モニターへの送出を停止する場合はメニューから [送出停止] をクリックします。

◆ プロジェクター画像送出

教材画像をプロジェクターに送出します。

[プロジェクター] ボタンをクリックし、表示されるメニューからプロジェクターへの送出を行う教材をクリックします。



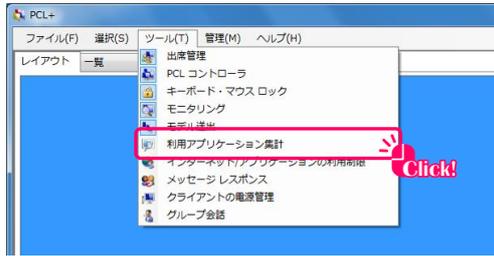
[プロジェクター] ボタンアイコンが 送出する教材のアイコンに変わり、プロジェクターに教材画像が映ります。

プロジェクターへの送出を停止する場合はメニューから [送出停止] をクリックします。

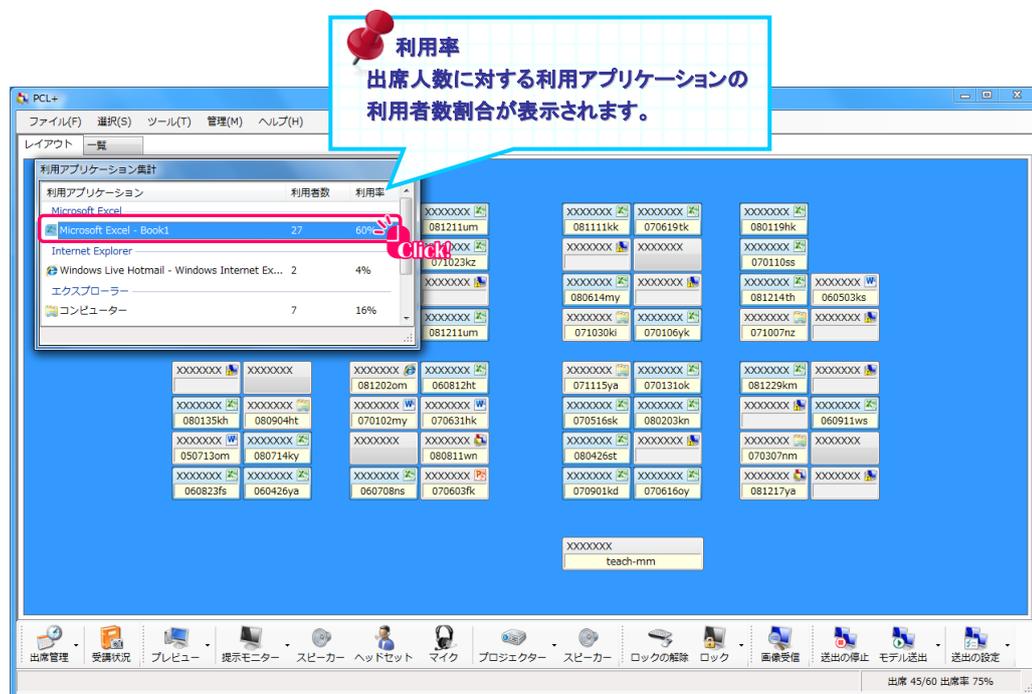
2.3.2.3. 利用アプリケーション集計

利用アプリケーションの集計により、学習者の作業状況を確認します。

メニューの [ツール] から [利用アプリケーション集計] をクリックします。



利用アプリケーション集計ウィンドウが表示され、学習者が利用中のアプリケーション名を集計し、一覧で表示します。



2.3.2.4. キーボードとマウスのロック

学習者が PC を操作できないようにキーボードとマウスをロックします。

ロックには、サインインしている学習者を一斉にロックする方法、一斉にロックし画面もブラックアウトする方法と、任意の学習者を個別にロックする方法の 3 種類があります。

◆ キーボードとマウスのロック(一斉ロック)

稼働中の学習者 PC のキーボードとマウスをロックします。

[ロック] ボタンの右側矢印部分をクリックし、表示されるメニューから [キーボードとマウスのロック] をクリックします。



稼働中の学習者 PC のキーボードとマウスがロックされます。レイアウトには、ロック状態を表すアイコンが表示されます。

キーボードとマウスのロックを解除するには、[ロックの解除] ボタンをクリックします。



ロックされていた学習者 PC のキーボードとマウスのロックが解除されます。

◆ ブラックアウト ロック(一斉ロック)

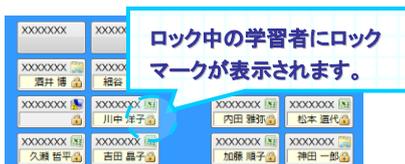
稼働中の学習者 PC のキーボードとマウスをロックし、サインイン中の学習者 PC の画面をブラックアウトします。

[ロック] ボタンの右側矢印部分をクリックし、表示されるメニューから [ブラックアウト ロック] をクリックします。

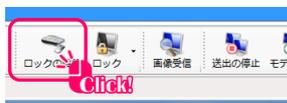


稼働中の学習者 PC のキーボードとマウスがロックされ、サインイン中の学習者 PC の画面がブラックアウトされます。レイアウトには、ロック状態を表すアイコンが表示されます。

※ 稼働中の PC とは、サインイン中、および、サインイン可能な状態まで起動されている PC のことを言います。



ブラックアウト ロックを解除するには、[ロックの解除] ボタンをクリックします。



ロックされていた学習者 PC のキーボードとマウス、および、ブラックアウトが解除されます。

ロックボタンについて

[ロック] ボタンは、ロックメニューの操作により、最後に実行(クリック)されたモードを保持するようになっています。メニューから [ブラックアウト ロック] をクリックした場合は、次にメニューから[キーボードとマウスのロック]がクリックされるまで、ロックボタンを直接押した場合はブラックアウト ロックを実行します。

アイコンを確認することにより、ロックモードを確認することができます。

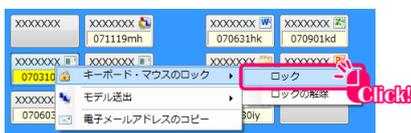


◆ キーボード・マウス のロック(個別ロック)

学習者 PC の操作禁止を個別に行います。

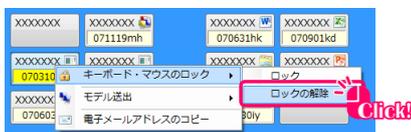
レイアウト画面上で、ロックする学習者を選択して右クリックし、表示されるメニューから [キーボード・マウスのロック] → [ロック] をクリックします。

(複数の学習者を選択するには、Ctrl キーを押しながら学習者をクリックします)



選択した学習者 PC のキーボードとマウスがロックされ、レイアウトには、ロック状態を表すアイコンが表示されます。

個別にロックを解除するには、ロック中の学習者を選択して右クリックし、表示されるメニューから [キーボード・マウスのロック] → [ロックの解除] をクリックします。



ロックされていた学習者 PC のキーボードとマウスのロックが解除されます。

キーボードとマウスのロック時のメッセージについて

学習者 PC の操作禁止時、学習者側にキーボード・マウスが ロック されたことをお知らせするバルーン(吹き出し型のメッセージ)が表示されます。

2.3.2.5. 画像受信(モニタリング)

学習者の PC 画面を取得し、学習状況の確認ができます。

モニタリングウィンドウの表示について

画像受信時の表示は、学習者の選択状態によって次のように変わります。

学習者の選択状態	分割数(最大分割表示数は 25)	モニタリング対象者
誰も選択していない	出席している学習者の人数に合わせて分割表示します。	サインイン中のクライアント
1 人を選択している	選択学習者 PC 画面を 1 台のみで表示します。	選択されたクライアント
2 人以上を選択している	選択された学習者の人数に合わせて分割表示します。	選択されたクライアント

◆ モニタリングウィンドウの操作

● 他の学習者をモニタリングする

現在表示されていない学習者の画面に切り替えます。

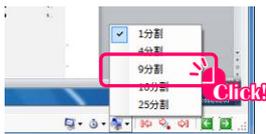
[] ボタン、または、[] をクリックします。



次の画面、または、前の画面に表示が切り替わります。

● 画面分割数を変更する

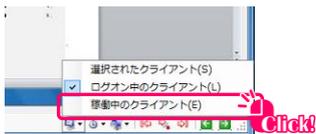
[画面分割] メニューをクリックし、表示されるメニューから分割数をクリックします。



選択された分割数で学習者 PC の画面を表示します。

● モニタリング対象者を変更する

[モニタリング対象] メニューをクリックし、表示されるメニューからモニタリングする対象者を選びます。



モニタリング対象となる学習者を対象に再表示されます。

※ モニタリング対象者の設定で、「稼働中のクライアント」、あるいは、「選択されたクライアント」を選択した場合に、モニタリング対象者となるクライアントの電源が入っていない場合は、何も表示されません。

● 自動巡回を行う

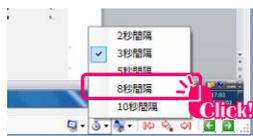
学習者を一定間隔で巡回し、画面を表示します。

「巡回の開始」ボタンをクリック、巡回を開始します。



設定された巡回間隔で学習者 PC 画面を表示します。

必要に応じて「モニタリング間隔」メニューをクリックし、モニタリング間隔を設定します。



モニタリング間隔は、1人の学習者をモニタ(表示)する時間設定となります。

自動巡回中、モニタリングウィンドウ内の画面やレイアウトウィンドウの学習者 PC ボタンをクリックすると、任意の学習者への個別操作のために巡回が止まります。巡回を再開するには [巡回ボタン] をクリックします。

巡回ボタンについて

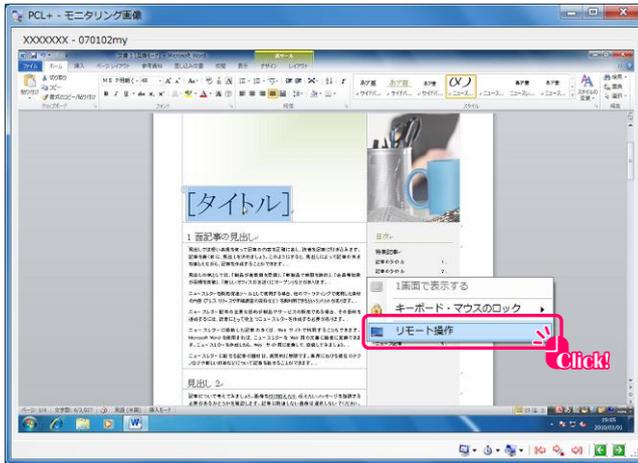
自動巡回開始時、巡回ボタンが巡回停止ボタンに変わり、左右のボタンも巡回モードに合わせて次のように変わります。

停止中のとき		巡回中のとき			
	前ボタン	前画面を表示します。		昇順ボタン	巡回を昇順で行います。
	巡回ボタン	巡回を開始します。		巡回停止ボタン	巡回を止めます。
	次ボタン	次の画面を表示します。		降順ボタン	巡回を降順で行います。

2.3.2.6. リモート操作

学習者の個別操作が必要な場合に、リモート操作を行います。リモート操作は、『2.3.2.5 画像受信(モニタリング)』を行ってからの操作となります。

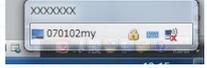
- 1) モニタリングウィンドウ内で右クリックし、表示されるメニューから [リモート操作] をクリックします。



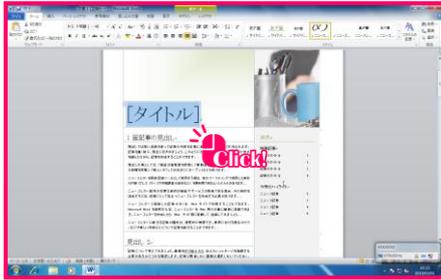
学習者の画面が全画面で表示され、リモート操作ツールウィンドウが表示されます。

リモート操作ツールウィンドウ

-  **キーボードとマウスのロック ボタン**
学習者 PC のキーボードとマウスをロックします。
-  **Ctrl + Alt + Delete キー 送信ボタン**
学習者 PC に Ctrl + Alt + Delete キーを送信します。
-  **リモート操作終了ボタン**
リモート操作を終了します。



- 2) リモート操作を行う学習者 PC に制御を移すため、画面内をクリックしてしてからリモート操作を開始します。



教員 PC のキーボードとマウスを利用して、学習者 PC をリモート操作します。リモート操作開始時、学習者のキーボードとマウス、および、教員のキーボードとマウスは互いに操作可能な状態になっています。学習者の操作を禁止させたい場合は、リモート操作ツールウィンドウをクリックしてから [キーボードとマウスのロック] ボタンをクリックします。

リモート操作を終了するには、リモート操作ツールウィンドウをクリックしてから [リモート操作終了] ボタンをクリックします。



2.3.2.7. モデル送付

選択した学習者 PC の画面を他の学習者に送付します。

モデル送付には、サインインしている学習者に一斉に送付する方法と、任意の学習者に送付する方法の 2 種類があります。

2.3.2.8. メッセージ レスポンス

学習者と教員の間でテキストベースのメッセージを送受信します。

2.3.2.9. インターネット/アプリケーションの利用制限

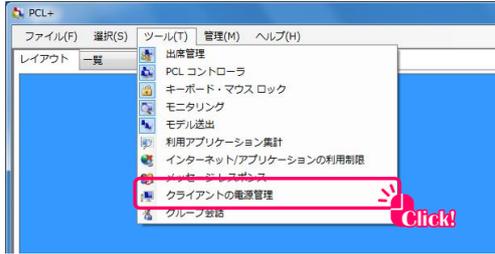
学習者 PC のアプリケーションの利用や、インターネットエクスプローラによる WEB 閲覧を制限します。

※ PCL+アプリケーションの終了時、および、インターネット/アプリケーション ウィンドウ を閉じたときに、この制限は解除されます。

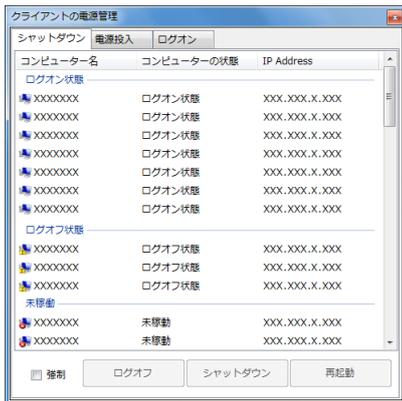
2.3.2.10. クライアントの電源管理

学習者 PC の電源管理(シャットダウン、再起動、サインアウト、電源投入等)を行います。

メニューの ツール から [クライアントの電源管理] をクリックします。



クライアントの電源管理ウィンドウが表示されます。



クライアントの電源管理ウィンドウを閉じるには、ウィンドウの右上にある 閉じる ボタンをクリックします。

◆ シャットダウン、再起動、サインアウト

- 1) [シャットダウン] タブをクリックし、シャットダウン、再起動、サインアウト操作画面に切り替えます。



- 2) 電源管理を行う PC を選択し、目的のボタン(サインアウト、シャットダウン、再起動)をクリックします。



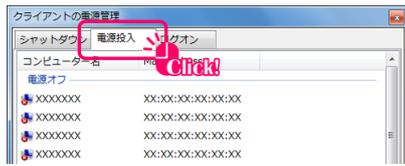
[強制]チェックボタン
ログオフ、シャットダウン、再起動時、作業中のデータを保護しません。強制的にログオフ、シャットダウン、再起動を行います。

選択された PC で指定されたモード(サインアウト、シャットダウン、再起動)が実行されます。

編集中のファイルなどがある場合やコンピューターのロック中は、ファイル保護のため正常にサインアウト、シャットダウン、再起動ができません。

◆ 電源投入

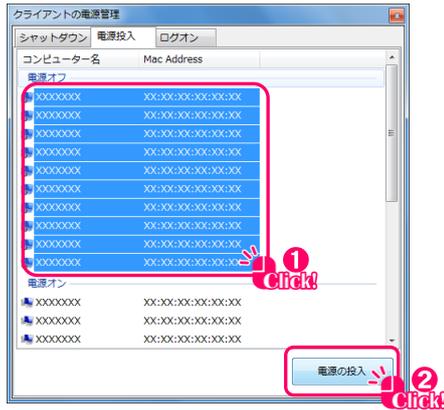
- 1) [電源投入] タブをクリックし、電源投入画面に切り替えます。



[Mac Address] 情報

電源投入に必要な情報(マックアドレス)は、PGL+クライアントと始めて接続の確認が行われた場合に自動で取得されます。マックアドレスが収集されていないPCに対しては、電源を投入することはできません。

- 2) 電源オフの PC を選択し、[電源の投入] ボタンをクリックします。



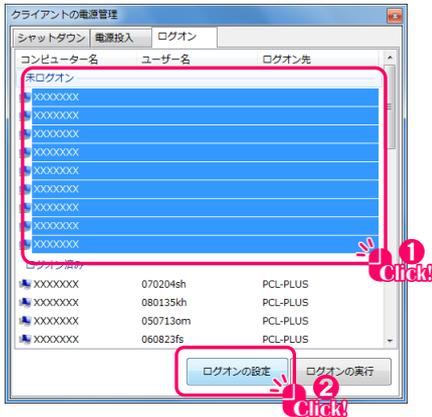
選択された PC の電源が投入されます。

◆ サインイン

- 1) [サインイン] タブをクリックし、リモートサインイン画面に切り替えます。



- 2) リモートサインインを行う PC を選択し、[サインイン情報の設定] ボタンをクリックします。



サインイン情報の設定ウィンドウが表示されます。

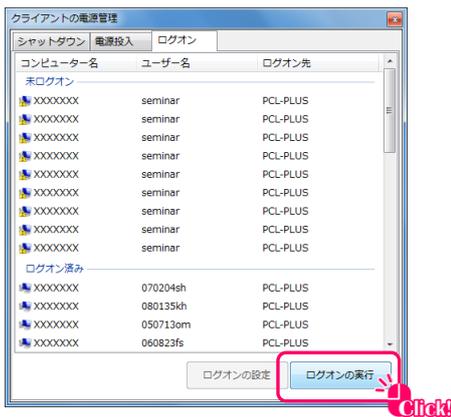
- 3) ユーザー名、パスワードを入力し、[設定] ボタンをクリックします。



ログオン先の指定で、ローカルにログオンする場合は、ローカルログオン横にあるチェックボックスにチェックを入れます。

サインイン情報の設定ウィンドウが閉じ、クライアントの電源管理ウィンドウに戻ります。

- 4) [サインインの実行] ボタンをクリックします。

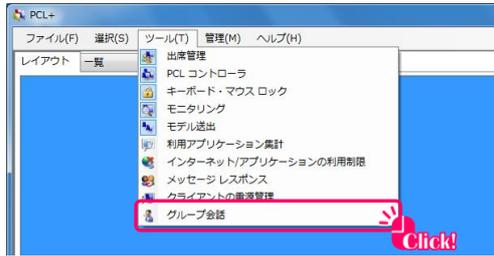


リモートサインインが実行されます。

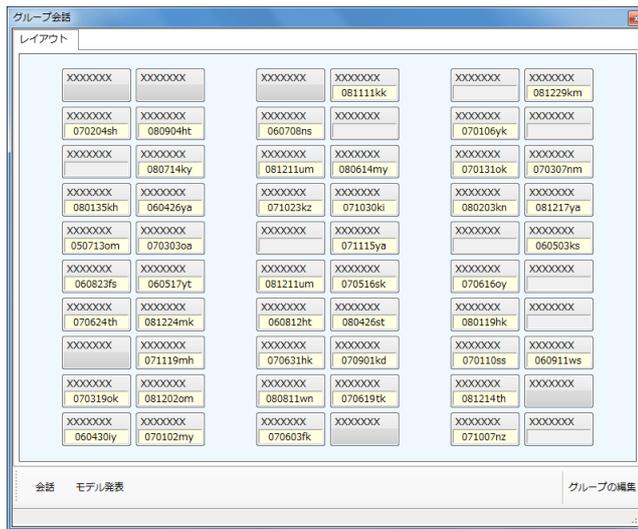
2.3.2.11. グループ会話

学習者間でグループ会話を行います

メニューの [ツール] から [グループ会話] をクリックします。



グループ会話ウィンドウが表示されます。



グループ会話ウィンドウを閉じるには、ウィンドウの右上にある 閉じる ボタンをクリックします。

3. 補足資料対応メディア一覧

3.1.1. PC 本体取付スーパーマルチドライブ(Serial ATA) 動作速度一覧

メディア	書込速度	読込速度
DVD-ROM	-	8 倍速
DVD-RAM	5 倍速	5 倍速
DVD+R	8 倍速	8 倍速
DVD-R	8 倍速	8 倍速
DVD+RW	8 倍速	8 倍速
DVD-RW	6 倍速	8 倍速
DVD+R DL(2 層)	4 倍速	6 倍速
DVD-R DL(2 層)	4 倍速	6 倍速
CD-R	24 倍速	24 倍速
CD-RW	10 倍速	24 倍速

(※各速度は最大値となります)

3.1.2. 外付け BD ドライブ(USB) 動作速度一覧

メディア	書込速度	読込速度
BD-R(1~2 層)*1	6 倍速	6 倍速
BD-R(3~4 層)	4 倍速	4 倍速
BD-R(LTH) *1	6 倍速	6 倍速
BD-RE(1~2 層)*1	2 倍速	6 倍速
BD-RE(3 層)	2 倍速	4 倍速
BD-ROM(1~2 層)*1	-	6 倍速
DVD+R(1 層)	8 倍速	8 倍速
DVD+R(2 層)	4 倍速	8 倍速
DVD+RW	8 倍速	8 倍速
DVD-R(1 層)	8 倍速	8 倍速
DVD-R(2 層)	4 倍速	8 倍速
DVD-RW	5 倍速	8 倍速
DVD-RAM *2	5 倍速	5 倍速
DVD-ROM(1~2 層)	5 倍速	8 倍速
CD-R	24 倍速	24 倍速
CD-RW	16 倍速	24 倍速
CD-ROM	-	24 倍速

- * : 記載されている速度はドライブの最大倍速です。
- * : 書き込みは、12cm メディアのみ対応しております。
- * : BD・DVD・CD への書き込みを行う際には、各々の書き込み速度に対応したメディアが必要です。
- *1 : USB2.0 接続時は、最大倍速ができません。
- *2 : 2 倍速以下のメディアは書き込みのみ対応しております。